

# 「200年住める木造住宅のつくり方」

## 低価格でも、長もちする良い家は手に入る

福田康夫内閣が打ち出した「200年住宅」ビジョン。長く、安全・快適に住まえる住宅づくりが国策として推進されることになったが、さて、木造住宅ではどんなことが必要になるのか？「200年住める木造住宅のつくり方」では、専門用語を多用せず、一般消費者にも分かりやすい平易な言葉で、木材の特質から設計、施工、管理の重要性までにわたる「高品質・低価格な住宅づくり」のポイントが記された。著者は、京都の注文住宅会社、ゼロ・コー

ポレーション社長の金城一守氏。狭小間口、袋小路といった京都ならではの悪条件を、高度な技術と工夫でカバーし、クレームを全て公開することで施工技術の検証と改善を繰り返してきた経験が、この一冊にまとめられている。ダイヤモンド社発行、価格は税別で1500円。

新刊紹介

